

生きいき憲法

(題字：日野原重明)



東京の九条の会をつなぐ

九条の会 東京連絡会

Contents

総選挙前に「九条の会」は何をするか	1
九条の会事務局長／東京大学名誉教授 小森陽一さん………	
東京 20 区市民連合（清瀬市・東久留米市・東村山市・東大和市・武蔵村山市）の取り組み	4
東京革新懇代表世話人／20 区市民連合事務局次長 松元忠篤さん…	
このままでいいの？ くらし・命・政治 9・12 板橋市民大集会	5
チェンジ国政板橋の会 共同代表 荒川孝治さん………	
候補者一本化と少数者が民主主義に果たす役割	6
「市民と野党をつなぐ会@東京」共同代表 鈴木国夫さん………	

総選挙前に「九条の会」は何をするか

九条の会事務局長／東京大学名誉教授 小森陽一さん

新型コロナウイルスの感染が、今までにない拡がりとなつていの中で、菅義偉首相はきわめて無責任な形で政権を投げ出しました。自民党内での「菅では選挙で勝てない」という声上がる中、総裁選に出馬しないことを表明したのです。結果としてマス・メディアは、九月一七日に告示となる自民党総裁選をめぐる報道一色となり、総選挙前に自民党大宣伝体制が形成されました。菅政権の姑息さを示すやり方です。

抜本的なコロナ対策をするために、野党が繰り返し要求している早期の臨時国会召集に対して、九月八日、自民党の森山裕国対委員長は九月中旬開催を拒否しました。同日日、「市民連合」は「衆議院選挙における野党共通政策の提言」を国会内で、野党に提出しました。この「野党共通政策」に対し、これを「共有し、その実現に全力を尽します」という署名を、立憲民主党代表枝野幸男、日本共産党委員長志位和夫、社会民主党党首福島みずほ、れいわ新選組代表山本太郎の四氏が行いました。総選挙へ向けての、本格的な野党共闘の始動です。

この「共通政策」の第一項目が、「1憲法に基づく政治の回復」です。まず、「安保法制、特定秘密保護法、共謀罪法などの法律の違憲部分を廃止し、コロナ禍に乗じた憲法改悪に反対する」と

あり、次の項目は「平和憲法」の精神に基づき、総合的な安全保障の手段を追求し、アジアにおける平和の創出のためにあらゆる外交努力を行う」となっています。

この二つの項目は二〇〇四年六月、「九条の会」が創設されて以来、全国的にそれぞれの「九条の会」が自発的に各地域、職場、学園で取り組んできた運動そのものです。同時に、安倍晋三政権が、戦争法としての「安保法制」を二〇一五年に強行し、その前提をつくるために「特定秘密保護法」と「共謀罪法」が国会を通されていきました。それに反対する運動の中で、国会を包囲した市民の運動が統一されていきました。

「総がかり行動実行委員会」が結成され、二〇一五年の「安保法制」に反対する方向で、「立憲デモクラシーの会」「安全保障関連法に反対する学者の会」「安保関連法に反対するママの会」などが結成されました。これらの諸団体が二〇一六年に結成された「市民連合」を構成しています。こうした諸団体が、二〇一七年に、「安倍9条改憲NO!」の一致点で、3000万人署名を提起し、「市民アクション」を結成する際、全国の「九条の会」ははじめて組織として、この運動に参加しました。その意味で、「共通政策の提言」の「憲法に基づく政治の回復」は、「九条

の会」のこの間の運動方針と一致しています。この項目のくくりの中で、「核兵器禁止条約の批准をめざし、まずは締約国会議へのオブザーバー参加に向け努力する」「地元合意もなく、環境を破壊する沖縄辺野古での新基地建設を中止する」という方針がかかげられています。

「2科学的知見に基づく新型コロナウイルス対

策の強化」は医療体制の整備を抜本的に進めることと、コロナ禍による倒産や失業に対する政策です。

「3格差と貧困を是正する」では、憲法第二十五条で保障されている生存権を保障するための、公的支援の充実と公平な税制が主張されています。

「4地球環境を守るエネルギー転換と地域分散

型経済システムへの移行」では、「原発のない脱炭素社会」をめざすエネルギー政策・自然災害対策、農林水産業支援が提起されています。

「5ジェンダー視点に基づいた自由で公平な社会の実現」では「ジェンダー、人種、年齢、障がいなどによる差別」を許さず、平等へ向けての法整備等が示されていました。

「6権力の私物化を許さず、公平で透明な行政を実現する」では、安倍・菅政権下のさまざまな疑惑の解明と、日本学術会議問題、公正な公務員人事です。

野党四党の政策合意は、この間「九条の会」が全国で進めてきた運動と、とても親和性があります。もちろん「九条の会」としては特定の政党や候補者を、組織として支持し選挙活動を行うものではありません。けれども、それぞれの地域、職場、学園の「九条の会」が、それぞれの持ち場で、四野党が合意した「野党共通政策」を広め、可能な選挙区では野党統一候補の擁立や選挙活動に協力することは個人としては可能になります。

次の総選挙で安倍・菅政治に終止符を打つために、「共通政策」に基づく野党四党の協力を後押しできるように、それぞれの地域、職場、学園の状況に基づいて、創意工夫をした活動を進めていきましょう。

5 ジェンダー視点に基づいた自由で公平な社会の実現

- ・ジェンダー、人種、年齢、障がいなどによる差別を許さないために選択的夫婦別姓制度やLGBT平等法などを成立させるとともに、女性に対する性暴力根絶に向けた法整備を進める。
- ・ジェンダー平等をめざす視点から家族制度、雇用制度などに関する法律を見直すとともに、保育、教育、介護などの対人サービスへの公的支援を拡充する。
- ・政治をはじめとした意思決定の場における女性の過少代表を解消するため、議員間男女同数化（パリテ）を推進する。

6 権力の私物化を許さず、公平で透明な行政を実現する

- ・森友・加計問題、桜を見る会疑惑など、安倍、菅政権の下で起きた権力私物化の疑惑について、真相究明を行う。
- ・日本学術会議の会員を同会議の推薦通りに任命する。
- ・内閣人事局のあり方を見直し、公正な公務員人事を確立する。

2021年9月8日

安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合

上記政策を共有し、その実現に全力を尽くします。

立憲民主党代表

枝野 幸男

日本共産党委員長

志位 和夫

社会民主党党首

福島 みずほ

れいわ新選組代表

山本 太郎

泥舟は船長より船を変えるべし
 (9月6日付「日刊ゲンダイ」見出し 五十嵐仁さん発言内容より)
 井そうだ選挙に行こう! (箱崎作次さん)

衆議院総選挙における野党共通政策の提言

—— 命を守るために政治の転換を ——

新型コロナウイルスの感染の急拡大の中で、自公政権の統治能力の喪失は明らかとなっている。政策の破綻は、安倍、菅政権の9年間で情報を隠蔽し、理性的な対話を拒絶してきたことの帰結である。この秋に行われる衆議院総選挙で野党協力を広げ、自公政権を倒し、新しい政治を実現することは、日本の世の中に道理と正義を回復するとともに、市民の命を守るために不可欠である。

市民連合は、野党各党に次の諸政策を共有して戦い、下記の政策を実行する政権の実現をめざすことを求める。

1 憲法に基づく政治の回復

- ・ 安保法制、特定秘密保護法、共謀罪法などの法律の違憲部分を廃止し、コロナ禍に乗じた憲法改悪に反対する。
- ・ 平和憲法の精神に基づき、総合的な安全保障の手段を追求し、アジアにおける平和の創出のためにあらゆる外交努力を行う。
- ・ 核兵器禁止条約の批准をめざし、まずは締約国会議へのオブザーバー参加に向け努力する。
- ・ 地元合意もなく、環境を破壊する沖縄辺野古での新基地建設を中止する。

2 科学的知見に基づく新型コロナウイルス対策の強化

- ・ 従来の医療費削減政策を転換し、医療・公衆衛生の整備を迅速に進める。
- ・ 医療従事者をはじめとするエッセンシャルワーカーの待遇改善を急ぐ。
- ・ コロナ禍による倒産、失業などの打撃を受けた人や企業を救うため、万全の財政支援を行う。

3 格差と貧困を是正する

- ・ 最低賃金の引き上げや非正規雇用・フリーランスの処遇改善により、ワーキングプアをなくす。
- ・ 誰もが人間らしい生活を送れるよう、住宅、教育、医療、保育、介護について公的支援を拡充し、子育て世代や若者への社会的投資の充実を図る。
- ・ 所得、法人、資産の税制、および社会保険料負担を見直し、消費税減税を行い、富裕層の負担を強化するなど公平な税制を実現し、また低所得層や中間層への再分配を強化する。

4 地球環境を守るエネルギー転換と地域分散型経済システムへの移行

- ・ 再生可能エネルギーの拡充により、石炭火力から脱却し、原発のない脱炭素社会を追求する。
- ・ エネルギー転換を軸としたイノベーションと地域における新たな産業を育成する。
- ・ 自然災害から命とくらしを守る政治の実現。
- ・ 農林水産業への支援を強め、食料安全保障を確保する。

●九条の会ブックレットのご案内●

「菅政権の成立と改憲問題の新局面——改憲発議阻止のために——」

- I. バイデン政権の成立と日米軍事同盟の強化 —— 第5次アーミテージレポートにもふれて ——
 布施祐仁 (ジャーナリスト／「平和新聞」編集長)
- II. 「敵基地攻撃能力保有」のいま
 前田哲男 (軍事評論家)
- 学術会議会員任命拒否と反憲法政治
 小澤隆一 (九条の会事務局／東京慈恵会医科大学教授)

発行：2021年4月1日 判型：A5判 64頁 頒価：1冊500円 10冊以上400円(2割引)
 ※送料は別途がかかります。ご注文は九条の会へ

九条の会事務局
 〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-5-7-303 TEL.03-3221-5075 FAX.03-3221-5076
 Eメール：mail@9jounokai.jp



東京20区市民連合（清瀬市・東久留米市・東村山市・東大和市・武蔵村山市）の取り組み

東京革新懇代表世話人／20区市民連合事務局次長 松元忠篤さん



▲清瀬市民連合の宣伝



▲東久留米市民連合の宣伝、宮本さんが訴えています

「立憲主義の回復をめざす東京20区市民連合」（清瀬、東久留米、東村山、東大和、武蔵村山）（以下「20区市民連合」）は、2020年9月20日、佐藤学東大名誉教授ら30数名の呼びかけ人による「結成のつどい——『立憲野党の政策に対する市民連合の要望について』広渡清吾東大名誉教授講演——」において結成されました。菅直人衆議院議員、尾崎あや子都議、原のり子都議、立憲民主党藤田まさみ東村山市議、東大和の「やまとみどり」3人を代表して中野志乃夫市議、共産党の市議の皆さん

が参加しました。2017年の衆議院選挙の時は「市民連合連絡会」で、20区全体で候補の推薦ができなかったために、今回全5市をカバーする市民連合が結成されたこととなります。

20区市民連合は結成後、毎月、事務局会議と運営委員会を開き、20区にふさわしい政策の検討や、5市の状況報告・交流を行ってきました。2021年2月7日には、渡辺治一橋大名誉教授を招き、「市民と野党の共闘で、新しい政治へ、歴史的な総選挙で政権交代!」をテーマにした学習会を開催。新自由主義の害悪などを学びました。宮本徹衆議院議員、共産党都議、立憲民主党市議が参加。会場66人、Zoom50人が参加しました。

2020年11月13日、政党に20区での野党候補を一本化してほしいとの要望書を提出し懇談を行いました。日本共産党東京都委員会は、20区市民連合の皆さんが野党候補一本化の努力をしていることについて全く同じ考えです、と表明。立憲民主党東京都連合会は、20区は候補者を

をたてていないので実質、日本共産党の宮本徹衆議院議員が候補者であると思っています、と表明。同年12月14日には社民党東京都連合に要請し、地元の支部が決めればその方を候補者として認めています、と回答。れいわ新選組とは連絡がつかず、最終的に東京20区の責任者と連絡を取りました。国民民主党からは懇談を断られています。

こうした状況を踏まえ、20区市民連合は、2021年3月28日、20区の候補者として、宮本徹衆議院議員の推薦を決め、宣伝も行うことにしました。

「政策協定書案」を事前に宮本徹議員に渡し、7月27日に20区市民連合と宮本徹氏との政策協定を行いました。日本共産党衆議院議員・宮本徹氏と、立憲主義の回復をめざす東京20区市民連合、代表者 清瀬市・池田いづみ、東久留米市・井口信治、東村山市・稲正樹、東大和市・池亨、武蔵村山市・井上忠男の5名が署名しました。9月12日の宮本徹オンライン演説会では、ふせ由女清瀬無所属市議、青木ゆうすけ東久留米社民党市議、藤田まさみ東村山立憲民主党市議、中野しのぶ東大和無所属市議が応援弁士を務めました。

市民連合は各市で活発に動いてきています。

清瀬市民連合は、9月4日、総選挙に向けたキックオフ集会を開催。コロナ感染防止策をとった会場には、宮本徹衆議院議員、原のり子都議、ふせ由女無所属市議、山崎美和共産市議と市民が多数参加。有原誠治さん作成の宮本徹さん応援動画を上映しました。市民連合として宣伝も連日行っています。

東久留米市民連合は9月11日、高田健さんの講演会を行い、宮本徹氏との政策協定の調印を行いました。高田健さんは、「安倍・菅9年の自公政権に代わる新しい政治の展望」と題して講演。81人が参加しました。また、毎週木曜夕方5時から6時まで東久留米駅西口での市

民連合と革新懇が共同で宣伝し、20区で何としても宮本徹さんを押し上げようとしています。9月9日の宣伝では、市民連合と野党4党の政策合意を急遽チラシにして配布しました。受け取りがいつもより良かったです。

武蔵村山では、9月8日、要求懇談会を開催。この日結ばれた政策協定を宮本徹さんが説明しました。26人が参加。20区市民連合武蔵村山への支援募金が20930

円。この懇談会の後、宮本さんと4人で、村山団地西商店街を訪問。15人と対話し、どこでもコロナの影響で営業がたいへんという声を聞きました。

東村山市民連合は9月19日にイベントを計画。現在、宣伝を旺盛に行っています。駅頭宣伝で「そうだ選挙に行こう」などのうたをダンスで披露したりして盛り上げています。

東大和では東久留米の高田健氏の講演をビデオで聴く会を行ったり、「そうだ選挙に行こう」のうたなどを演奏して宣伝を盛り上げたりしています。

近く「20区市民連合」は、ビラを2万枚作成し宣伝することにしています。事務所開きを市民連合も大勢参加するようにしようと話し合っています。

このままでもいいの？

くらし・命・政治 9・12板橋市民大集会

チェンジオ政板橋の会 共同代表 荒川孝治さん

東京11区では「市民と野党の共闘で統一候補の擁立」めざし、「チェンジオ国政！板橋の会」が活動を強めています。板橋では、

現職の下村博文氏が町会、商店街、各種業者団体等の強固な保守地盤と公明党・創価学会の全面的な支援の下、長い間議席を得てきた選挙区です。ここで何としても「市民と野党共闘」で「統一候補」を擁立して勝利しようと活動を継続させてきました。

そのポイントは、区内を6つのブロックに分け、ブロックごとに街頭・駅頭宣伝、学習会、小集会、フードバンク等の取り組みを積み重ねてきたことにあります。街頭・駅頭宣伝はブロックごとに月1回から3回、立憲・共産・社民・新社の各党と実施し、



定着してきました。「チェンジオ板橋」の賛同人は500人を超えています。

いよいよ総選挙です。「チェンジオ板橋」の枠を超えて、「私たちのくらし・命・雇用を守る政治にチェンジオするために」労働組合や民主団体、地域の9条の会等の各団体や個人によびかけて実行委員会を結成し、「このままでもいいの？ くらし・命・政治 この声届け！ 諸要求実現・政権チェンジオ！板橋市民大集会」を開催します。

集会では「未来を変えよう！ この声届け！」と題して、板橋で活躍している労働組合・商工業者・文化芸術団体・平和団体・市民団体や女性、若者など区内の市民から発言してもらいます。さらに街頭・オンラインで集めた「この声」も発表します。メイン会場の他にサテライト会場も設置し、その内容をYouTubeで配信し、誰でも視聴できるようにします。

9月8日に市民連合と立憲・共産・社民・れいわの各党首と市民連合が共通政策に合意しました。このことは私たちを大きく励ましました。次は各野党間での政権協議と選挙協力（候補者調整・一本化）です。東京11区でも、9・12大集会をステップに、なんとしても市民と野党の統一候補の擁立をめざして最後まで頑張ります。

（9月10日）

候補者一本化と少数者が民主主義に果たす役割

「市民と野党をつなぐ会@東京」共同代表 鈴木国夫さん

1. れいわも含めて野党共闘が成立

2021年9月8日、野党4党は、市民連合の「衆議院総選挙における野党共通政策の提言」に調印した。ギリギリのタイミングであったが、れいわ新選組も加わったことに感慨を覚える。ここに至る過程での、市民と少数者の果たした役割について述べる。



▲野党4党党首

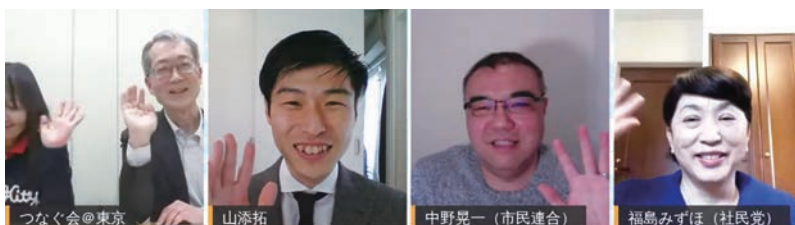
2. 政党中央マターである候補者一本化

歪められた政権を代えるために、小選挙区での一本化戦術は当然である。東京の各地の市民組織も一本化を求めて、各党を招いての対話集会や街頭宣伝等を行ってきた。しかし、政党中央での基本合意が進まなかったため、地域では如何ともしたい膠着状態が続いた。

そこで、政党中央に対して、つなぐ会が音頭をとって、



▲市民連合と立憲民主党・長妻氏



▲オンラインイベント画像

3. 一本化で考えさせられた、民主主義における少数者の役割

各党回りを何度も行い、要望書提出で民意を伝えた。各党は市民の声は有り難いとして受け取ってくれた。また、下からの土壌づくりとして、従来あまり接点がなかった国民民主党、れいわ新選組も招いてのオンラインイベントも行った。

政党中央間で合意が出来、統一されるまでは、どの選挙区でも候補者を対等平等に扱ってきた。仮にそれぞれの地域組織が「勝てそうな候補者」を多数決的に選ぶと、小選挙区制の悪さが出て、少数政党が圧迫され、大政党が横柄になってしまう恐れがある。市民組織の分裂にもつながる。

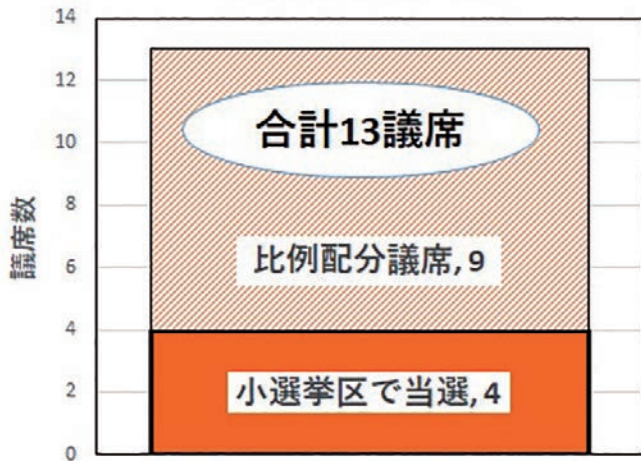
膠着状態が長引くと、市民の中には焦って「何で、勝てもしない候補を出すのか。野党共闘を壊すのか」と文句を言う人も出てきて、候補者が辛い思いをすることもあった。

しかし足踏みの原因は、野党第一党が様々な圧力により、明確に野党共闘とバスター折衝に踏み出さないことにあるのであって、少数政党が責められるのは筋が違う。むしろ少数政党の踏ん張りは、野党第一党に政治姿勢とマネジメント能力強化の課題があることを市民の前に提示してくれた。今後政権運営に向け、鍛えるべき課題である。議員にこの問題を問うと「代



▲政権批判と投票へ行こう運動

東京選挙区で2017年衆議院選で、 野党が獲得した議席

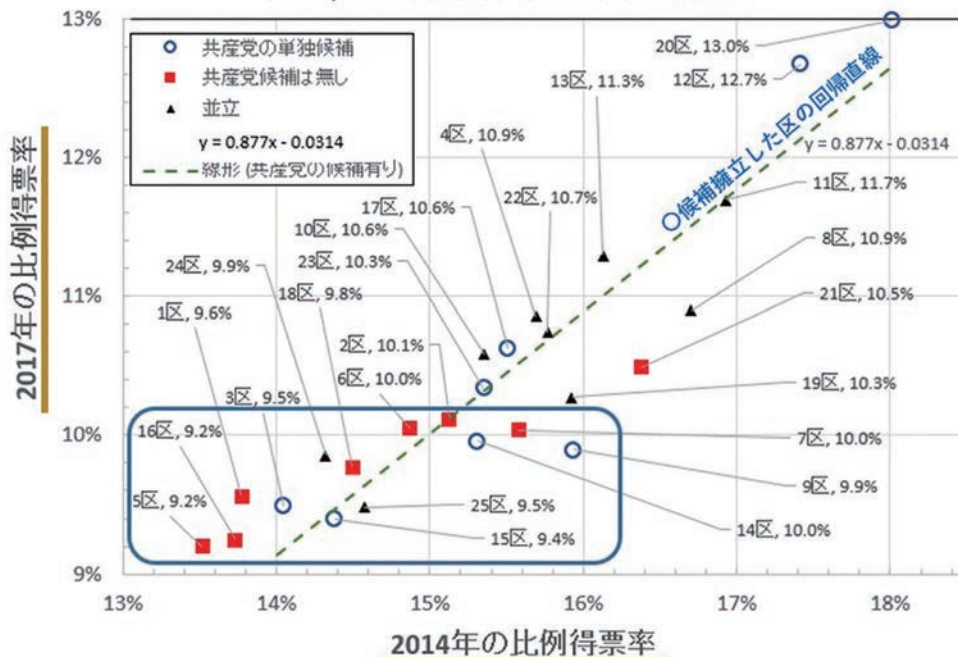


▲比例が大事

4. 候補者並立も野党議席最大化の戦術の一つ
市民としては一本化でたかいたいが、最後まで候補者並立の選挙区もある。相手候補が強力なため、一本化しても議席獲得ができない地域でも、各党が比例票を積み増しすることで、野党議席の最大化に貢献することができる。市民組織の宣伝としては、政権批判と投票へ行こう運動が中心となる

5. 候補者を擁立しないと本当に比例票が減るのか？
比例票は大事である。東京で前回、立憲野党が獲得した13議席の内、比例は9だった。東京比例ブロック定数17の内、与党よりも多く獲得したことは特筆に値する。小選挙区に候補者を出さないと、比例票が減るという心配が語られる。共産党地区委員の方が、候補を譲ったから得票率が下がったと落胆しておられたが、2017年の選挙では立民誕生の余波が大きかった。データを図にしてみると、各地区の得票率と「候補者有無」とは、意外にも相関が薄かった。
この散布図は、共産党の比例得票率を、横軸2014年、縦軸2017年として相関を見たものである。大雑把に言うと、斜めの破線が独自候補者を擁立した場合の想定ラインであり、この付近にあれば平均的といえる。■印は「候補者無し」の地区の

【日本共産党】候補者有無と比例得票率の関係 (2014,2017衆院選東京ブロックの比較)



▲候補者有無と比例得票率の関係

成績であるが、破線より上も下もあり、必ずしも悪くはない。共産党の単独候補区○印や、並立区▲印と比べても遜色はない。候補者有無による宣伝効果よりも、他の要因による影響が大きかったと思われる。統一に貢献した政治姿勢も好評価されたと考えられる。

●原稿をお寄せください●

次号 76 号 (11 月発行予定) に各会の活動、地域の状況について、ぜひご寄稿ください。文字数 800 字～1300 字程度。写真もありましたら、お送りください。また、12 月以降の行事がありましたら、ご連絡ください。締め切りは 2021 年 11 月 10 日。

●年額賛同金の拠出のご協力をお願い●

九条の会東京連絡会の会計年度は 10 月から始まります。年額賛同金の拠出のお願いのお手紙と郵便振替用紙を後日、送らせていただきますので、ご協力よろしく願いいたします。また、拠出者拡大、「生きいき憲法」普及にご協力いただければ幸いです。

郵便振替口座：00180-6-762960

口座名：九条の会東京連絡会

●九条の会東京連絡会 6.19 大集会 渡辺治さん講演記録 DVD ができました●

これから秋の総選挙を経て、自民党政権が続く限り、改憲への策動が続きますが、その改憲の動きを止めるためにも、いまの政治状況の危険をはっきりと認識しなければなりません。

6.19 大集会での渡辺治さん（九条の会事務局・一橋大学名誉教授）の講演は、そうした今の政権と日米軍事同盟の危険な状況を分かりやすく解説し、その改憲を阻止するためにどのように取り組んでいったら良かに答えるものです。菅政権が変わろうと、彼らが推し進めようとしている危険と改憲の動きは変わりません。この秋の改憲阻止の闘いの中で、九条の会の学習会などで大いにご活用ください。



DVD「市民の力で改憲に終止符を —菅政権と日米軍事同盟 改憲の新段階—」96 分

頒価：1000 円（送料を含む・DVD 送付に振込用紙を同封します）

問合せ、申込み先：憲法を考える映画の会

〒185-0024 国分寺市泉町 3-5-303 TEL 042-406-0502

Eメール：hanasaki33@me.com

10 月以降の主な日程

◆ 10 月 21 日（木）18 時 30 分～20 時 30 分

私学九条の会・東京 第 48 回憲法学習会

「アジア・太平洋戦争の現実と日本人の歴史認識」

講師：吉田 裕さん（一橋大学名誉教授）

会場：全国教育文化会館・7 階大会議室

参加費：500 円 どなたでも参加できます。

主催：私学九条の会・東京

問合せ先：03-3230-4091（東京私教連）

※コロナ感染の状況で日程が変更・延期になることがあります

ので、東京私教連ホームページでご確認ください。

◆ 10 月 23 日（土）10 時～

第 12 回横田市民交流集会 映画と講演のつどい

〔第 1 部 映画の部〕10 時～12 時

「カメジロー不屈の生涯」

〔第 2 部 講演の部〕13 時～15 時

「台湾問題」大西 広さん（慶応大学経済学部教授）

ビデオ参加

「台湾危機とは」半田 滋さん（ジャーナリスト）

〔第 3 部 告発の部〕15 時～

「許し難い危険な超低空飛行訓練の実態」

実行委員会からの訴え・行動提起

窪田一忠事務局長

会場：福生市民会館（JR 青梅線「牛浜」東口徒歩 5 分）

参加費無料（会場の規定に従って実施、中止の場合もあり）

主催：10・23 横田基地もいらない！ 沖縄とともに

声をあげよう市民交流集会実行委員会

連絡先：080-8721-7177（岩田）

◆ 10 月 29 日（金）14 時～16 時

「中国はどこへ行くのか～中国の政治・経済の現状と課題～」

講師：佐久間徹さん（中国問題研究家・日中友好協会全国理事）

会場：赤羽会館 3 階第 2 集会室

主催：赤羽西地域九条の会（03-3908-9807 村木）

後援：日中友好協会北支部

●「そうだ選挙に行こう！」

「変わる選挙で！ ぼくとあなた」●

2 曲とも YouTube で視聴できます（箱崎作次で検索）。

CD、生演奏、歌指導、必要な方は下記へ。

e-mail：s_hakozaki@hotmail.co.jp

宣伝活動、集会など、活動の際に歌って盛り上げましょう。

●「九条の碑」を建立する会から●

おかげさまで「九条の碑」を建立する会は、募金の目標額を達成しましたが、付帯工事費などが必要のため、引き続き募金を継続いたします。ご支援をいただければ幸いです。

郵便振替：口座名：「九条の碑」を建立する会

口座番号：00130-0-421509

ゆうちょ銀行：口座名：「九条の碑」を建立する会

記号 11330 番号：01391361

詳しくは、Facebook「九条の碑」を建立する会をご覧ください。

連絡先：090-6953-7144（中田）

e-mail：sinsekai@sage.ocn.ne.jp